

TL_2503: パン用のテンションベアリングと左ベアリングのネジ結合部の再点検

 iVario Pro L / XL

 2025/04/02

テーマ

注！ お客様のもとでいずれにせよサービス訪問を行う場合にのみ、この再点検を実施してください。この再点検のためにわざわざお客様を訪問する必要はありません。

ここでは、サイズLおよびXLのiVario Proのパン用の テンションベアリングと左ベアリングのネジ結合部の再点検についてご説明します。
一部のユニットでは、ネジ結合部が緩み、時間の経過とともに物的損害につながる可能性があります。

サービスレベルで、ご自身がサービスを担当する各該当ユニットについて、再点検が実施されたかどうかを確認します。
まだサービスが記入されていないユニットについては、以下に記載されている再点検を至急実行してください。
次に、実施した再点検を必ずサービスレベルに記入してください。

精算には以下の品番を適用してください。

精算体系	精算名称	精算所要時間	精算品番
ServiceCall用	テンションベアリングの点検	15分	9999.8951
ServiceCall用	テンションベアリングの手直し	30分	9999.8952
ServiceDesk用	テンションベアリングの点検	15分	9999.7101
ServiceDesk用	テンションベアリングの手直し	30分	9999.7102

対象となる製品/アクセサリー

- iVario Pro
- L
 - XL

注！ 対象となるユニット：以下の末尾のユニットシリアル番号まで：8085085。

対象となるコンポーネント

- 87.01.603S：テンションベアリング（右ベアリング）
- 20.02.892P：パン用左ベアリング（左ベアリング）

このコンポーネントは、ユニットサイズLとXLの両方で同じです。

修正ログ

- このドキュメントの前バージョンからの変更事項。
- 精算品番の追加。
 - 再点検と手直しの分離。

サービスレベルへの記入の確認

- サービスレベルを開き、再点検がすでに行われているかどうかを確認します。
左：ここにはサービスが記入されていません。
右：ここにはすでに再点検が記入されています。



- これに関する記入が見つからない場合は、以下に記載されているように再点検を行ってください。
>> サービスレベルの記入の確認が完了しました。

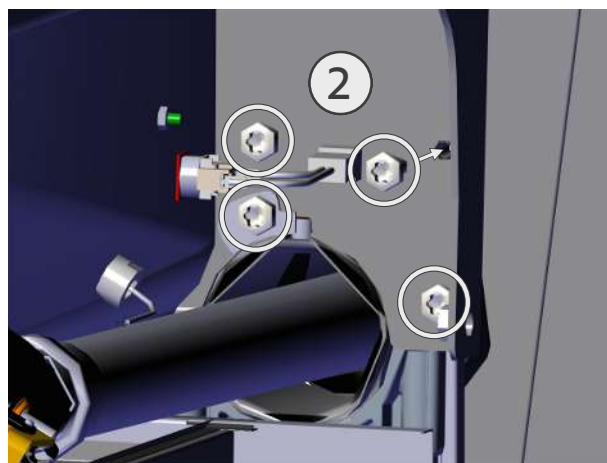
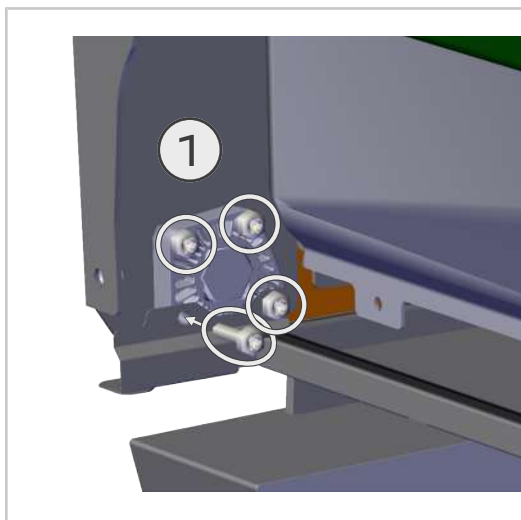
ベアリングのネジ結合部の再点検

- ✓ 再点検を実行するには、パンの前面パネルを取り外す必要があります。これについては、必要に応じて以下を参照してください：MI_2501の第1章：パンの前面パネルの断熱材 - 交換

左側にはパン用の左ベアリング (1)、右側にはテンションベアリング (2) があります。



1. 両方のベアリングで、8本のネジがすべてしっかり締まっているか確認します。



- > ネジがすべてしっかり締まっている場合、これ以上何もする必要はありません。この章の手順を終了してください。
- > ネジの一部が緩んでいる場合、次の章で説明されているように、ベアリングのネジ結合部の手直しを行ってください。

2. パンの前面パネルを逆の順序で再び取り付けます。
3. 実施した再点検をサービスレベルに記入します。これについては、最後の章を参照してください。

>> これで再点検が完了しました。

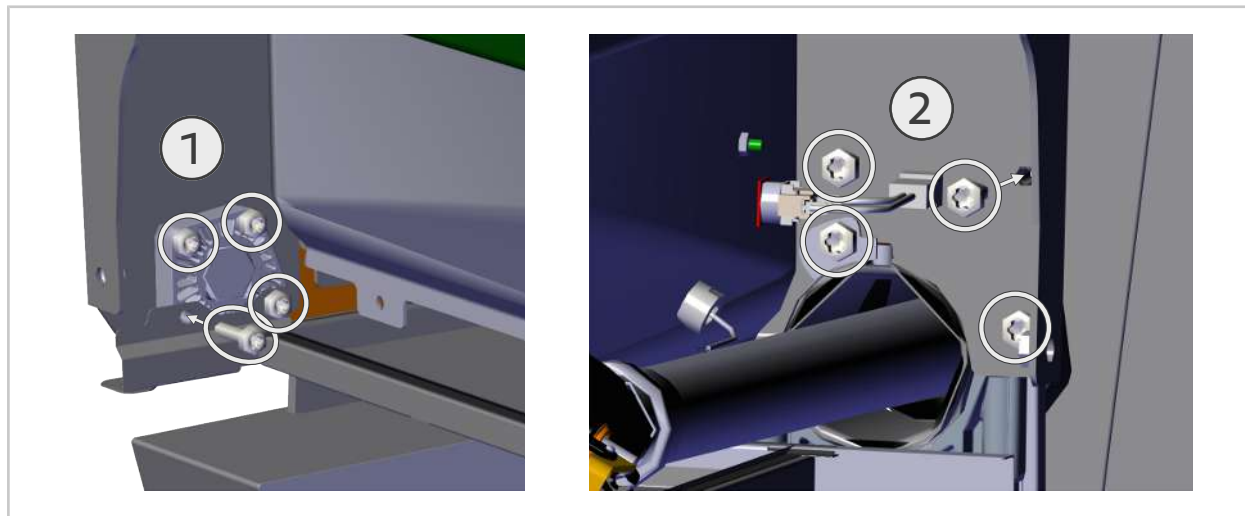
精算の際、この再点検には上記に従って15分を適用してください。

ベアリングのネジ結合部の手直し

再点検の際にネジ結合部が緩んでいることが確認された場合は、すべてのネジを順番に外し、清掃し、ねじ止め剤を塗り、20 Nmで再び締めます。

✓ ユニットは再点検から引き続いてまだ開いています。

1. 点検の際には、ベアリングからネジを1本ずつ取り外します。



2. ネジに銅グリスの跡がないか確認します。
3. ネジに銅グリスが付着している場合は、ブレーキクリーナーなどでネジとユニットのネジ山のグリスを除去します。
4. 中強度の液状ねじ止め剤をネジに塗布します。
5. ネジを20 Nmでしっかりと締めます。
6. 両方のベアリングの残りの7本のネジすべてでこの手順を順番に繰り返します。
注！ベアリングがずれないように、ネジは常に1本ずつベアリングから取り外してください！20 Nmの締め付けトルクがすべてのネジに適用されます。
7. パンの前面パネルを逆の順序で再び取り付けます。
8. 実施した手直しをサービスレベルで記入します。これについては、次の章を参照してください。

>> これで手直しが完了しました。

精算の際、この手直しには上記に従って30分を適用してください。

サービスレベルへの記入

- ✓ 手直しはサービスレベルに記入する必要があります。そうすることでのみ、実施されたサービスを追跡し、繰り返しの不必要な点検を回避できます。

1. 以下の説明に従って、再点検 / 手直しをサービスレベルに記入します。

コンポーネントを選択する：zz22 パン軸

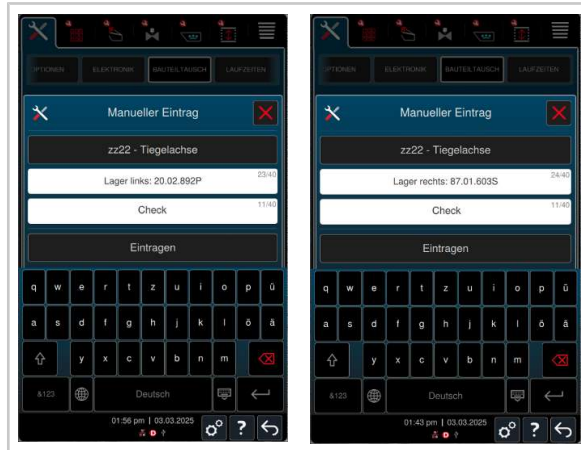
シリアル番号：左ベアリング：20.02.892P

メモ：チェック

コンポーネントを選択する：zz22 パン軸

シリアル番号：右ベアリング：87.01.603S

メモ：チェック



2. マニュアル入力を確定して保存します。

Zuletzt getauscht	Komponente	Name	Seriennummer	Info
03.03.2025 11:02 am	zz22	Tiegelachse	Lager rechts: 87.01.603S	Check
03.03.2025 11:04 am	zz22	Tiegelachse	Lager links: 20.02.892P	Check

>> 記入が完了しました。